

組合だより

スゴいぞ!
牛乳

JA

おからく

2025

9

vol.279

令和7年9月12日発行

発行：おかやま酪農業協同組合

責任者：小椋 孝史

津山市川崎94-1

☎(0868)26-1101

令和6年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



優秀賞 教育長賞 岡山市立建部中学校3年 善木 己琴

(絵の説明)

日本全国の有名なものと乳製品などを描き、牛乳は日本全国で愛されているんだということが伝わるように頑張って細かいところまで描きました。ALL JAPAN LOVE MILKとそのまま描かずに、日本の国旗の日の丸をハートに変えて描いてみました。

現況調査まとめ

乳牛総頭数は13,587頭

令和7年8月1日現在での現況調査を行いましたので、その結果をご報告いたします。組合員の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は（表1）のとおり142戸、13,587頭と前年8月に比べ戸数では6戸、頭数では624頭の減少となりました。品種別ではホルスタイン種12,181頭（466頭減）、ジャージー種他1,406頭（158頭減）でした。

飼養戸数の内訳は、（表2）のとおり関係機関を除く搾乳農家は136戸、育成農家2戸、関係機関4戸です。また、肉用牛飼養農家は36戸でした。

経産牛頭数は10,090頭（595頭減）、育成牛頭数は3,497頭（29頭減）。搾乳農家1戸当たりの平均飼養頭数は97.7頭（1.7頭増）、平均経産牛頭数は72.6頭（0.4頭増）。育成牛率は25.7%となりました。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると（表1）西大寺地区が97頭減、備南地区が179頭減、びほく地区が21頭減、勝英地区が26頭減、津山地区が22頭増、真庭地区が323頭減となりました。全体では624頭の減少となっております。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は西大寺、津山、真庭の順となっております。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

（表3）の飼養頭数別酪農家戸数をみると30頭未満の飼養農家は34戸（23.9%）、30頭から49頭の飼養農家は36戸（25.4%）、50頭から79頭の飼養農家は35戸（24.6%）、80頭から149頭の飼養農家は23戸（16.2%）、150頭から499頭の飼養農家は11戸（7.7%）、500頭以上の飼養農家は3戸（2.1%）となっております。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は5,746頭です。うち哺育農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼養するホルスタイン・F1・和牛等の頭数は3,388頭となっております。

また、酪農家の飼養する和牛・F1等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は2,358頭です。

☆飼料作付面積

自給飼料の作付面積については、全体で1,536ha、スーダン・ソルゴー、とうもろこし、その他の順でした。

（生産支援課）

乳牛頭数等取りまとめ表(表1)

令和7年8月1日現在

	西大寺	備南	びほく	勝英	津山	真庭	おからく合計
乳牛飼養戸数 (対前年増減)	20 (-2)	21 (-1)	15 (-2)	24 (-3)	27 (-9)	35 (-1)	142 (-6)
乳牛総頭数 (対前年増減)	908 (-97)	5,977 (-179)	1,000 (-21)	1,774 (-26)	1,544 (22)	2,384 (-323)	13,587 (-624)
経産牛頭数 (対前年増減)	600 (-89)	4,653 (-186)	704 (-123)	1,414 (-11)	1,044 (-17)	1,675 (-169)	10,090 (-595)
経産牛頭数の 占める割合(%)	5.9%	46.1%	7.0%	14.0%	10.3%	16.6%	
経産牛率(%)	66.1%	77.8%	70.4%	79.7%	67.6%	70.3%	74.3%
育成牛率(%)	33.9%	22.2%	29.6%	20.3%	32.4%	29.7%	25.7%
ホルスタイン種	842	5,967	1,000	1,774	1,544	1,054	12,181
ジャージー種他	66	10	0	0	0	1,330	1,406

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

おからく現況調査総括表(表2)

令和7年8月1日現在

		西大寺	備 南	びほく	勝 英	津 山	真 庭	おからく合計
酪農家戸数	搾乳農家	18	21	15	24	26	32	136
	育成農家	1	0	0	0	0	1	2
	合 計	19	21	15	24	26	33	138
関係機関戸数	搾乳農家	1	0	0	0	1	1	3
	育成農家	0	0	0	0	0	1	1
	合 計	1	0	0	0	1	2	4
酪農場総数 (乳牛飼養戸数)	搾乳農家	19	21	15	24	27	33	139
	育成農家	1	0	0	0	0	2	3
	合 計	20	21	15	24	27	35	142
肉用牛飼養農家戸数		2	6	3	9	13	3	36
総農家戸数(関係機関を含む)		22	27	18	33	40	38	178
ホルスタイン 頭数	6ヶ月未満	59	182	78	76	109	66	570
	6～24ヶ月	196	1,029	215	284	391	220	2,335
	24ヶ月以上	587	4,756	707	1,414	1,044	768	9,276
	合 計	842	5,967	1,000	1,774	1,544	1,054	12,181
	うち経産牛頭数	556	4,648	704	1,414	1,044	732	9,098
ジャージー他 頭数	6ヶ月未満	9	0	0	0	0	96	105
	6～24ヶ月	9	5	0	0	0	276	290
	24ヶ月以上	48	5	0	0	0	958	1,011
	合 計	66	10	0	0	0	1,330	1,406
	うち経産牛頭数	44	5	0	0	0	943	992
乳用牛総飼養頭数		908	5,977	1,000	1,774	1,544	2,384	13,587
経産牛頭数		600	4,653	704	1,414	1,044	1,675	10,090
乳用牛1戸当たり飼養頭数		47.8	284.6	66.7	73.9	57.2	72.2	97.7
乳用牛1戸当たり経産牛頭数		31.6	221.6	46.9	58.9	38.7	50.8	72.6

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

地区別酪農家戸数(育成農家・関係機関を含む)(表3)

令和7年8月1日現在

	平均 年齢	飼養頭数別酪農家戸数													計
		1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～79	80～99	100～149	150～249	250～499	500～999	1000～	
西大寺	64	3	1	2	3	6	1	2	0	2	0	0	0	0	20
備 南	54	1	1	0	4	2	1	1	1	3	3	1	2	1	21
びほく	59	0	1	5	4	1	1	0	0	1	1	1	0	0	15
勝 英	55	0	2	3	3	5	3	1	2	3	1	1	0	0	24
津 山	55	0	5	5	2	0	4	5	3	2	1	0	0	0	27
真 庭	49	1	3	1	2	4	4	12	0	6	2	0	0	0	35
合 計	55	5	13	16	18	18	14	21	6	17	8	3	2	1	142

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

北米産輸入乾牧草 2025年産新穀情勢について

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 購買畜産課 福浦菜々子

いつも大変お世話になっております。全酪連大阪支所で粗飼料を担当している福浦と申します。

9月に入りようやく朝晩が涼しい季節となりましたが、人も牛も夏の疲れが出て体調を崩しやすい時期ですので、お体には十分気をつけてお過ごしください。

さて、今年も北米産輸入粗飼料が新穀に切り替わる時期になりましたので、現在の粗飼料情勢についてご紹介させていただきます。皆様のご参考になれば幸いです。

はじめに

各草種の情勢をご紹介する前に、北米コンテナ船の情勢についてお話しいたします。

北米西海岸航路では、世界情勢の影響を受けコンテナ船の入船遅延が発生しております。スエズ運河近辺における商業船への攻撃を避けるための喜望峰迂回航路やアジアの積替港におけるコンテナの滞留が継続していることから、日本に入港予定のコンテナにもスケジュールの乱れが生じています。また、日本の主要港でも混雑が深刻化しており、一部の船会社では貨物を移送して蔵置箇所の確保を行っています。今後は台風が多く発生する時期となることから、荷役作業の遅れや本船の滞船など、さらなる港湾混雑も懸念されています。

米国の追加関税措置により、関税引き上げ前の米中間の船積みが増しましたが、増便による供給過剰によって徐々に船舶のスペース不足は収まっています。

アルファルファ

2025年産アルファルファの作柄につきまして、執筆時点でワシントン州では3番刈り、オレゴン州では2番刈りの収穫が開始されています。

1番刈りでは一部地域で降雨被害をうけ、色褪せた品質や降雨を避けて収穫したことによる刈り遅れの低級品が発生し、良品は限定的となっています。一方で2番刈りでは天候に恵まれたことから、色目が良く葉付きが良好な上級品が多く収穫されています。

輸出向けの買い付け交渉は継続して行われていますが、産地では高値で販売したい生産農家と安価で購入したい輸出業者の間で折り合いがつかないケースが多く、取り引きは十分に進んでいない状況です。

米国内酪農家は成分値の高い上級品の買い付けを進めておりますが、日本や中国における需要減退から輸出業者が積極的な買い付けを行っておらず、取り引きの鈍化により産地相場は軟調に推移しています。



ワシントン州アルファ 1 番刈り (左：上級品 右：低級品)

米国産チモシー

執筆時点のワシントン州、アイダホ州では1番刈りの収穫作業が終了しています。春先の冷涼な気候と収穫期に好天により、1番刈りの多くは上級品で、中～低級品の発生は限定的となっています。

輸出業者が旧穀の繰り越し在庫を保有していないため、特に発生が少ない低級品では昨年同様に買い付けが旺盛に進んでおり、産地相場が堅調に推移しています。



米国産チモシー 圃場

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州では、執筆時点で1番刈りの収穫作業が行われています。

断続的な降雨により雨当たり品も発生し、降雨被害を逃れた圃場についても、天候回復を待って収穫したため刈り遅れ気味の品質となり、上級品は限定的で中級品～低級品の発生が中心となっています。

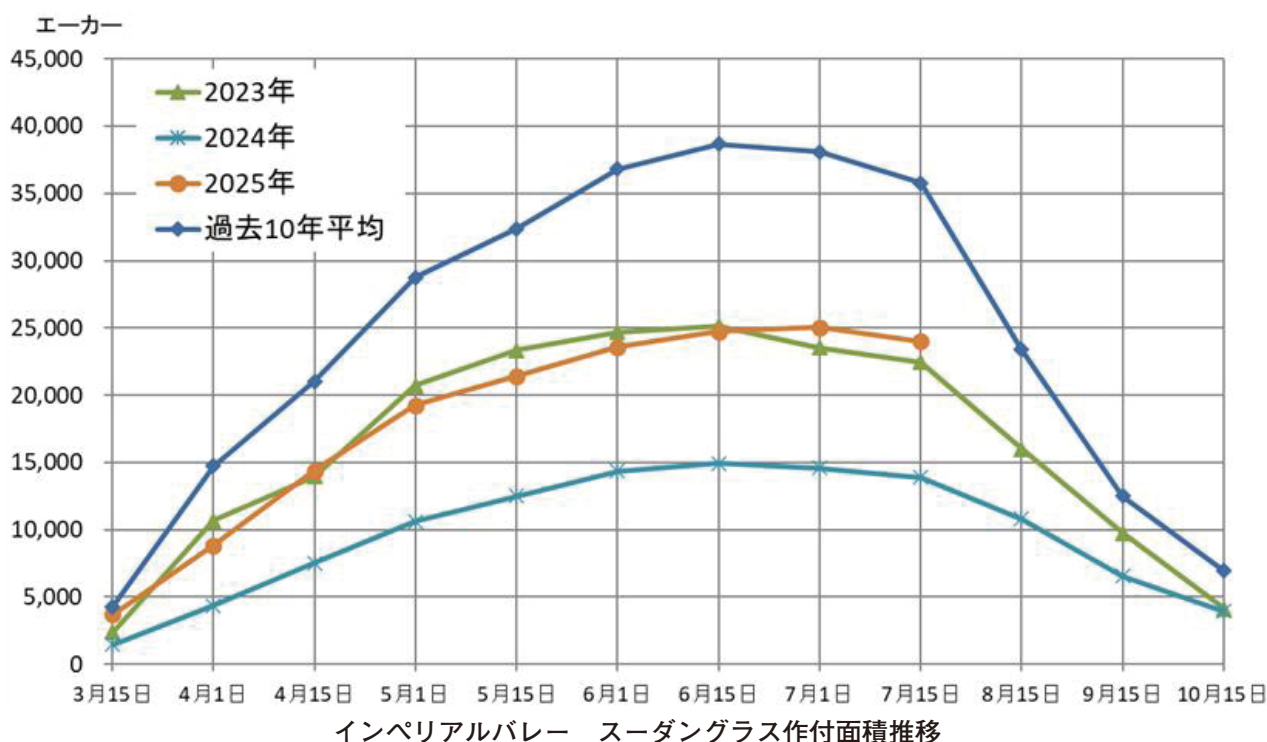
スーダングラスヘイ

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、執筆時点で2番刈りの収穫作業が開始されています。

1番刈りでは好天に恵まれたため、茎が細く葉量が多い良品が多く発生しています。しかし、産地相場低迷により生産農家の作付意欲が低いいため、大半の圃場では2番刈りの生産に進まず、秋野菜の生産に備えています。

昨年の一部の輸出業者が旧穀の繰り越し在庫を保持していましたが、2025年産では解消され、積極的に新穀スーダンの買い付けを再開しているため、産地相場は堅調に推移しています。

灌漑局の発表している8月15日時点でのスーダングラスの作付面積は8,268.5haで、前年同期の188.9%まで回復しています。



クレイングラス

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、執筆時点で3番刈りの収穫が開始されています。1・2番刈りの収穫期間中は降雨もなかったことから柔らかく葉付きが多い良品が中心の発生となっています。

2025年は6月1日よりDIP（休耕地政策）が開始されているため、すでにDIPを実施している生産農家もあり、例年生産される3番刈りと比較すると生産量が減少する見通しです。

灌漑局の発表によると、2番刈り収穫中である8月15日時点での作付面積は9,445.8haとなっており、前年同期比の110.8%と増加していますが、繰り越し在庫が限定的となっているため、今後の相場次第では生産量を需要が上回ることも考えられるため注視が必要です。

最後に

ここまでお読みいただきありがとうございました。

本稿では米国内における粗飼料情勢をご紹介しましたが、現地情勢に加えて為替や海上運賃の変動も考慮して日本における新穀価格が決定します。

弊会の北米産輸入粗飼料につきましては、9月以降に順次新穀切り替え予定となっております。

本稿が少しでも皆様のご参考になれば幸いです。気になる点などございましたら、お近くの全酪連職員までお問い合わせください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

洗淨の基礎知識Ⅲ

～洗剤を理解する～

さて、洗淨について最終回です。

1. 洗剤の種類と洗淨 その特徴

①アルカリ性洗剤

《目的》主に乳脂肪・乳蛋白を落とす。洗淨水温度60～80℃で使用し、排水温度が40℃以上になるように。アルカリ洗淨の前に酸性洗淨を行うと乳成分（特にタンパク）が凝固し特に落としづらくなる。

②酸性洗剤

《目的》生乳や洗淨水に含まれるCaやMg等のミネラル分を落とす。使用温度は60～80℃。通常は3日に1回だが、水の硬度によって使用頻度を変えると良い。

☆0～80ppm⇒3日に1回使用

☆81～150ppm⇒2日に1回使用

☆151ppm～ ⇒毎回使用

※酸洗淨後のすすぎを怠ると塩素分が配管に残りゴム類を傷める。よくゴム類がぬるぬるしたり黒く指に付くのはこの塩素のため。

③酸性リンス

《目的》CaやMgを酸化Caや酸化Mgに変化させて配管内に付着しにくくする。また、配管内のpHを4以下にして次の搾乳まで細菌の増殖を抑える。酸性リンスを使用するとすすぎの行程が1回削減できる。使用温度は35～45℃。

※酸性洗剤と酸性リンスを間違えるとアルカリ洗剤と交じり、塩素が発生し中毒を起こす。酸性洗剤と酸性リンスは濃度が違うだけでなく洗剤そのものが違う！

④殺菌剤

《目的》配管等の殺菌。通常、次亜塩素酸ナトリウムを用いる。使用温度は水または40℃以下の温度で使用する。高温で使用すると塩素が飛び殺菌力が低下する。

※お湯に溶解すると目に刺激があり、濃度を間違えると皮膚が荒れる。

※有機物（生乳・糞等）の存在下ではその殺菌効力が著しく低下する。乳房清拭用殺菌剤として利用されるが、タオルについた糞等が混入すると殺菌力はすぐに低下する。殺菌剤はきれいになっているときに使用して初めて殺菌効力が活かされる。

※次亜塩素酸ナトリウムはpH7以下で効力が高く、pH8以上になると効力は低下する。すなわちアルカリ洗淨後にすすぎをしないで殺菌しても効力は乏しい。（タオル洗濯時に清拭用タオル専用洗剤（塩素系漂白剤入り）を使用し、乳頭清拭には洗淨・保湿効果剤を使用すると効果的）

《使用濃度》200ppmで使用する 濃度が薄すぎても濃すぎてもダメ。

殺菌剤（次亜塩素酸ナトリウム）の希釈目安（塩素濃度 200ppm(0.02%)）

有効塩素濃度6%の場合

作りたい量 (希釈する水量)	10ℓ	20ℓ	30ℓ	40ℓ	50ℓ	60ℓ	70ℓ	80ℓ	90ℓ	100ℓ
原液の投入量	33cc	67cc	100cc	133cc	167cc	200cc	233cc	267cc	300cc	333cc

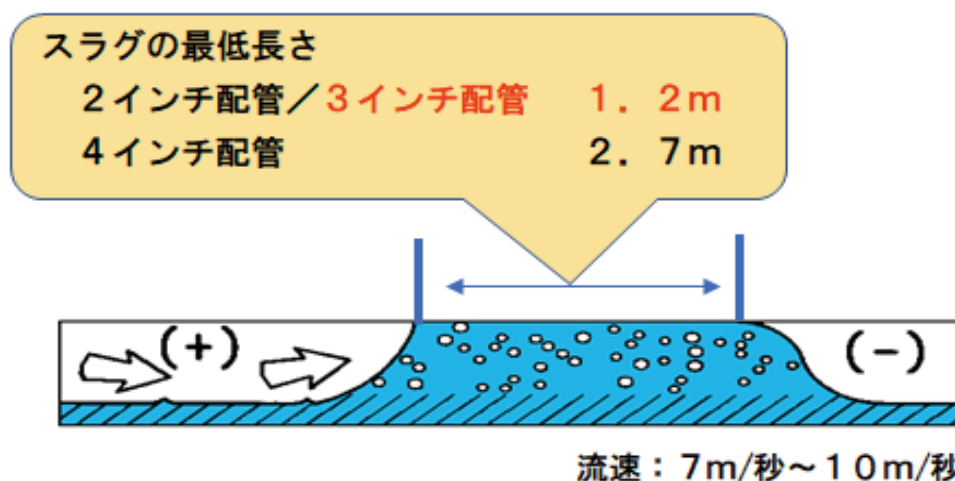
有効塩素濃度12%の場合

作りたい量 (希釈する水量)	10ℓ	20ℓ	30ℓ	40ℓ	50ℓ	60ℓ	70ℓ	80ℓ	90ℓ	100ℓ
原液の投入量	17cc	33cc	50cc	67cc	83cc	100cc	117cc	133cc	150cc	167cc

《品質保持》殺菌剤の品質保持には特に注意が必要。6%と12%とあるが、12%ものの方が塩素濃度は低下する時間が早い。特に毎回の使用量が少なく開栓後の時間が長いものは要注意。安いからといって大量購入は問題。6%濃度の方が良いでしょう。製造年月日を確認すること。消費期限は未開封の場合概ね2年。

2. スラグ流

スラグ流とはエアと真空の差圧により形成される水のブロック流。ミルク配管内全体を洗浄する際にブラシの役割を担っている。洗浄際にスラグ流がないとミルク配管内全体を洗浄できない。スラグ流はパーラーで20個。パイプラインミルクで15～20個必要と言われている。最初の5～10個で主な汚れを落とし、残りの10個で細かい汚れを落しきる。



以上、ただ機械任せで洗うのではなく、各種洗剤の特徴や濃度、性質、使用条件、保管のしかた等を理解して正しく使うことが大切です。また、自動洗浄では洗浄しきれない部分も多数あるため定期的に手洗い洗浄も必要です。

3. 洗剤の重要4条件

前述したように、確実に汚れを落とすには（1）洗浄温度（2）洗浄水量（3）洗剤濃度（4）洗浄時間の4条件を守ることが需要です。

（1）洗浄温度

アルカリ洗浄後の排水温度が40℃以上の場合、洗剤濃度が0.3%以上あれば細菌数は減少するが30℃以下の場合、濃度が0.3%から0.5%でも細菌数は増加します。

菌別の増え方をみると、中温菌が最も多く増殖し、次いで低温菌、耐熱菌となります。つまり、洗剤の濃度をあげても排水温度が低ければ洗剤の効力はないということです。

（2）洗浄水量

洗浄水量はユニットの数、パイプラインの長さ、パイプの太さ等により計算の仕方があります。水量が少なくても、多すぎても水温が下がることがあります。ボイラーの機能や水量によっても影響を受けます。また、水量の誤差が生じ、洗剤の量が違っていることがあるため、きちんと把握しておく必要があります。

（3）洗剤の濃度

水量との関係上、きちんと定量測定する必要があります。手動においても、きちんと目盛りのついた容器で、規定通りの濃度になることが重要です。とくに塩素系殺菌剤は時間と共に劣化するため、製造年月日の確認は重要です。大量買いで在庫を多く抱えるのもよくありません。

洗剤の自動吸引の過信は禁物です。チューブが潰れていたり、詰まったりして吸引してないことが多々あります。7日～10日ペースで消費量をチェックしましょう。

（4）洗浄時間

洗浄時間が短ければ汚れを落としきれず、長ければ洗浄水が冷えて汚れの再付着につながります。循環洗浄時間は最長で10分くらいまでです。（排水温度を測ってみましょう）

「供卵牛情報と採卵計画(10月分)」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

10月の採卵計画を
お知らせします。

ご利用の場合や
詳細な情報が必要
な場合は、最寄りの
家畜保健衛生所、受
精卵移植師の方等に
ご相談ください。

なお、能力評価を
牛群検定成績から行
うため、検定参加農
家の方を譲渡対象と
しています。

また、採卵予定日
や交配予定種雄牛に
ついては、急遽変更
になる場合があります
ので、あらかじめ
ご了承ください。
13日を予定していま
す。
※ご要望・ご意見等
ありましたら、畜
産研究所までご連
絡ください。

【優良牛】(選別性判別無し@32,560、雌判別@43,450)	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
♀：OAC シヤーロット ビゲロ シャルル シヤーレッティ ET 登録番号：13909 7302 8 北海道導入牛の孫、産乳成分に優れる 体型小さめ		10/9
♂：ピザズ (511H16836) 米国20位相当 ヤングサイヤ、生産寿命・繁殖指数に優れ、乳 器指数も高い		

交配精液は、長命連産事業対象 (@6,000円以内) です。
事業の詳細は、おかやま酪農協へお問い合わせいただくか、農林水産省のホームページをご覧ください。

在庫卵情報 (在群上位牛)

採卵牛	総合指数 (順位)	系統	個体識別番号	種雄牛	性*	保存**	在庫数
ウルル	3262	1 %	ウエストジエツト	エンパワー (♀) 629H20939	選別精液 ♀	ガラス化	4
					選別精液 ♀	ダイレクト	8
				オーウエン (♀) 777H12666	判別 ♀	ガラス化	2
					選別精液 ♀	ダイレクト	6
キヤツプ	3176	1 %	チャシテイ	マローン (♀) 507H16263	選別精液 ♀	ガラス化	3
				パースーツ (♀) 777H11186	選別精液 ♀	ダイレクト	7
シャルル	3100	1 %	シヤーレッティ	バーグーン (♀) 507H16163	判別 ♀	ガラス化	4
					選別精液 ♀	ガラス化	4
				レッチワース (♀) 550H16110	選別精液 ♀	ガラス化	3
キヤシー	3098	1 %	チャシテイ	キヤプテン (♀) 551H4119	選別精液 ♀	ガラス化	6
キズナ	3084	1 %	チャシテイ	オービット (♀) 507H15496	選別精液 ♀	ガラス化	4
キキ	3042	2 %	キヤロット K	ハイプレシヤス (♀) JP61137	判別 ♀	ガラス化	2
				パーフェクト (♀) 507H15085	判別 ♀	ガラス化	1
					選別精液 ♀	ダイレクト	3
ラビー	3010	2 %	ラベール	フロストバイト (♀) 7H15821	選別精液 ♀	ガラス化	3
キヤスト	2917	4 %	チャシテイ	デデイケート (♀) 551H3590	選別精液 ♀	ダイレクト	3
キヤリー	2776	9 %	チャシテイ	アルコーブ (♀) 777H11000	選別精液 ♀	ダイレクト	6

※判別♀：受精卵を性判別、選別精液♀：性選別精液使用・卵の性判別無し

※※ガラス化：畜産研究所で融解、ダイレクト：移植時に融解移植

青年部全体交流会

8月6日、青年部の全体交流会を開催し、組合員さんとそのご家族とともに備中松山城へ登りました。

8合目の駐車場からの山道は木々に囲まれており、日陰のおかげで夏の暑さも和らぎましたが、予想以上の高低差に、登るのは少し大変そうでした。それでも、子どもたちは険しい道も物ともせず、元気いっぱいに登っていきました。

20分ほど歩くとようやく城郭が見え、展望台からの城下町の眺めはまさに絶景でした。子どもたちは二の丸広場で走り回ったり、城主猫「さんじゅーろー」と触れ合ったり、本

丸に向かって登っていったりと、疲れを感じさせないほど元気に過ごしていました。

下山後は、地元焼肉店「モランボン」に移動し、登山でお腹を空かせた一同がテーブルを囲み、美味しいお肉を食べながら、各地区の近況や日常について楽しく話されていました。

普段は距離が遠く直接会う機会は多くありませんが、そんな皆さんが笑顔で会話を交わしながら楽しむ姿を見て交流会を開催する意義の大きさを改めて感じました。

(生産支援課)

子どもたちが笠岡干拓地の見学に来ました

8月9日、まやこども園の子どもたちが「(有)希望園」と「かぶとバイオファーム」を訪れました。

最初に、(有)希望園で子牛の哺育舎を見学し、その後搾乳牛舎・ロータリーパーラーと順番に見学をしました。子牛と触れ合いながら「可愛い」といった声が飛び交うなど非常に楽しそうに見学していました。

次に訪れたかぶとバイオファームでは、動画による説明とバスに乗っ

来ました

ての施設の見学が行われました。ふん尿の受け入れの説明の際には、子どもらしい反応も見られましたが、みんな興味津々で動画を見て勉強していました。

なお、今回の見学にあたり、飲むヨーグルト40本をおからから提供しています。

(備南事務所)



子牛と触れ合う子どもたち



天守を背景に記念撮影

売りたいし買いたいし

仮設トイレ

(和式・汲み取り式・

ポータブルトイレ)

・坪数

約0.4坪

・畳数

約0.8畳

・外寸

横幅85×奥行160×高さ255 (cm)

・内寸

横幅75×奥行104×高さ193 (cm)

・販売価格

55,000円+送料

・詳細・連絡先

小林 誠

☎090-1017-0851



岡山県農林水産委員への要請活動

8月12日、県酪農政治連盟は三宅委員長、山本副委員長、東山副委員長、小村副委員長、檜尾組合長、事務局の7名が岡山県議会を訪問しました。岡山県議会では遠藤議長、小林副議長、清水農林水産委員長と面談し、要請活動を行いました。

三宅委員長が遠藤議長に要請書を手渡し、要請内容について説明しました。遠藤議長には小林副議長、清水農林水産委員長から酪農情勢を伝えていただき、遠藤議長も酪農窮状を理解していただけたと感じました。三宅委員長、檜尾組合長から特別交付金から酪農予算の増額を強く要請しました。

主要要請内容

- ・高止まりした飼料・資材への支援
- ・牛乳・乳製品需要の拡大施策として高等学校生徒等に牛乳を供給する仕組みの構築
- ・酪農ヘルパー事業及び牛群総合改良推進事業への支援継続
- ・集荷施設である鏡野CSの補改修の支援
- ・鳥獣被害の防止対策

今後とも国、県等への要請活動を通じ、酪農窮状を訴え酪農情勢の改善に取り組んでまいります。

(酪政連事務局)



要請活動



要請書提出

オハヨー乳業スタンプラリー

8月30日、おかやまコープ主催の「オハヨー乳業スタンプラリー」がオハヨー乳業(株)本社工場で開催されました。

備前地区青年部・女性部が協力し、一般消費者133名の方に、牛乳の生産・製造・販売の工程を経験してもらい、牛乳が食卓に届くまでの体験をしてもらいました。

生産ブースでは、備前地区青年部員に、つなぎと長くつ姿で消費者へ向けて、日々の仕事内容や酪農の魅力を語っていただきました。そして、模擬搾乳牛を使つての搾乳体験や牛の体の仕組みや実際の飼料などを見てもらい、製造ブースでは、工場内の製造ライン



牛乳もちとラッシーを配るようす

を見学後、風味検査として3種類の牛乳(低脂肪乳・成分無調整乳・加工乳)の飲み比べをしてもらいました。販売ブースでは、工場敷地内に設置された商品陳列棚に、出来上がった商品を陳列する体験をした後、備前地区女性部員による手作りの「牛乳もち」「ラッシー」が振舞われ、消費者からは「美味しい」と大好評でした。

まだまだ猛暑の中ですが、多くの親子連れが参加され、模擬牛で搾乳をして、上手く搾れて喜ぶ人、風味検査で牛乳の種類を当てた人・当てられなかった人、陳列体験を一生懸命にやっていた人など、皆さんそれぞれ楽しんでいました。牛乳等の値上がりで消費が落ちていますが、消費拡大のPRにはなっているのではないかと思います。

暑い中、ご協力いただいた備前地区青年部・女性部の皆さん、本当にありがとうございました。

(西大寺事務所)

ひろば

夏の味覚

生産支援課 井元 銀河

先日、鮎をいただいたので、塩焼きにしてみました。

焼き魚は火加減が重要ですが、鮎は特に気を付けないといけません。

よく洗い塩をまんべんなく振った鮎を弱火で皮を乾かすように焼きます。中火にして焼き目を付けたら裏返して同じように焼きます。さらに裏返

し染み出た水分を飛ばし、火を止め蒸らします。

こうして焼きあがった鮎は、香ばしく、皮がパリット、身はふっくら仕上がります。そのままかぶりつくのが一番です。身の甘さと皮のしょっぱさが抜群で、はらわたのほろ苦さも格別です。

料理は毎日のことですが、こうして季節を味わえる一皿は特別です。今回はグリルでも十分美味しくできましたが、次は炭火焼きにも挑戦してみたいです。



酪大フイールド研修

井元 銀河（生産支援課）

先日、中国四国酪農大で5日間研修に参加しました。

朝5時から搾乳が始まり、夕方は17時から再び搾乳をしました。3日目の朝までは第1牧場のつなぎ牛舎でホルスタインを、3日目の夕方から第2牧場のオートタンデムパーラーでジャージーの搾乳を体験しました。

搾乳は4つの乳頭から同時に行いますが、同時に終わることはなく先に搾り終わった部分に陰圧がかかり、牛が足を上げるなどしてミルカーが外れてしまうことがあります。



片岡（前列左）、井元（前列右）

す。その時には乳房をマッサージしたり、さすって気を逸らしたりします。こうした小さな配慮も牛にとって大切なのだと実感しました。

日中は酪農の基礎知識を学ぶ座学があり、学生に戻ったような気分です。普段与えている飼料が生乳生産にどのように影響するのかを知り、与える順序の重要性についても学びました。

早朝からの作業や慣れない動きで大変でしたが、普段とは違う視点で過ごすことができ、新たな学びと発見が多い5日間となりました。この経験を今後の業務に生かし、酪農家の皆さんの力になれるように頑張っていきたいです。

片岡 純一（蒜山事務所）

令和7年度酪大フイールド研修の一週間コースへ参加させていただきました。今回の参加の目的としては実際に自分で搾乳することで、搾乳手順の中でどういったことに注意しなければならぬのか、再確認したい思いがありました。教えていた

だったのはいくら搾乳者の技術があっても搾乳機器の点検がおろそかになっていけると乳房炎が発生してしまうということ、酪大では搾乳前にかんりの項目を点検されていました。実際にフイールド研修の受け入れなどで搾乳者が入れ替わり立ち代わりする中でも良質な乳質を維持している要因は、毎日の機器の点検に

理事会報告

7月31日、第303回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和7年度生乳需給安定化対策について

令和7年度6月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○導入事業について

令和7年度猛暑対策緊急導入事業について内容を協議し、夏場以降の酪農経営の安定と乳量・良質乳の確

あると思います。また、実際に搾乳してみると牛の性格や乳房形状によつて作業性がかなり変わる印象で、改良の大事さを痛感しました。今回の研修で感じたことは、酪大ならではの人数がいるから分担してできるという点で、より実践に近い研修がしたいという気持ちが強くなりました。

保を目的に事業を行うことを確認し、承認した。

○報告事項

鏡野CS修繕について、第1四半期苦情等の報告について、第1四半期の監査日程について、県畜産共進会について、組合員数の状況について、支払業務の効率化について報告した。

人事

採用

（令和7年9月1日付）
池上 正紘（獣医師）

（事業本部 生産支援課）



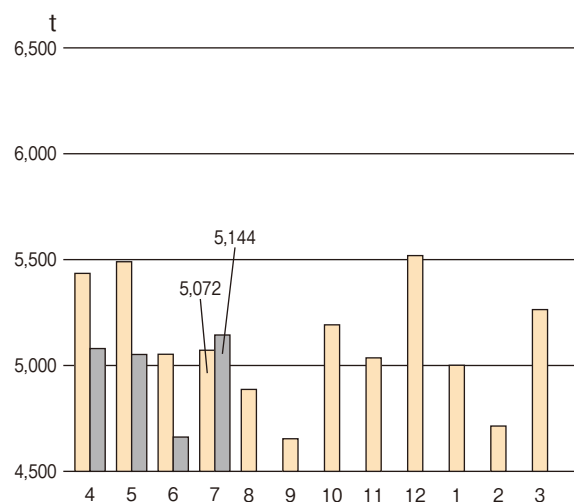
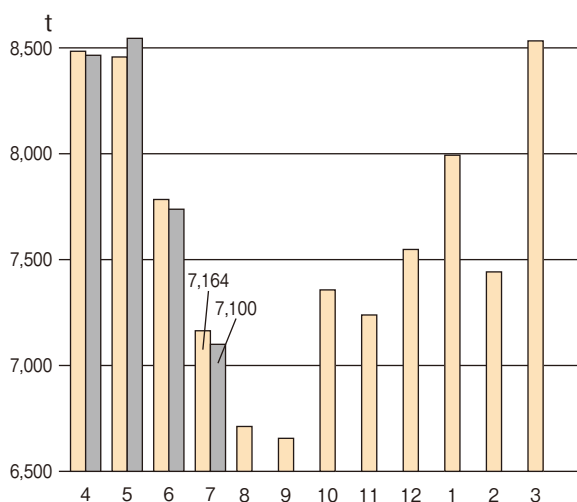
おからく事業実績

生乳販売量(令和7年度)

生乳販売量(令和6年度)

購買取扱数量(令和7年度)

購買取扱数量(令和6年度)



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	受託乳量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	受託	飲用	乳製品	その他
全国	7	569,288	290,653	135,979	142,656	101.5	102.3	104.3	97.6
	4~7	2,366,222	1,132,994	651,579	581,648	101.4	99.6	106.1	99.8
岡山県	7	7,101	6,920	114	67	99.1	98.6	140.7	108.1
	4~7	31,849	29,253	2,158	438	99.9	99.0	109.8	116.5
北海道	7	338,076	74,460	125,343	138,273	102.6	107.4	105.8	97.6



主な行事

9月

- 22日 管理職会議
- 24日 牛乳・乳製品利用料理コンクール
書類審査会
- 25日 岡山県畜産共進会
乳牛の部&全共選抜会
(~26日)

10月

- 1日 現物監査
牛乳大好き絵画コンクール審査会
- 18日 牛乳・乳製品利用料理コンクール
岡山県大会
- 20日 管理職会議
- 25日 第16回全日本ホルスタイン共進会
北海道大会
(~26日)
- 30日 理事会

北海道初妊牛価格

8月については、秋分産中心の取り引きとなったなか、回転需要に加え、暑熱事故の代替需要により、初妊牛平均価格は税込59万6千円(前月比1万7千円高・前年比16万3千円高)とやや強含みで推移しました。9月については、猛暑もやや落ち着き、暑熱時期を見合わせていた導入需要も見込まれることから、初妊牛相場は、現状水準から強含みでの価格展開が予測されます。